主催：大津市発達障害者支援センターかほん
共催：大津市障害者自立支援協議会、社会福祉法人おおつ福祉会
協力：滋賀県自閉症協会、滋賀ＬＤ等発達障害親の会トムソーヤ

2024 年度 学習会のご案内

ご要望いただき、今年度も当センター主催で「学習会」と「保護者・家族交流会」を開催させていただくことになりました。
ご興味のある方は、お気軽にご参加くだされば幸いです。

場所 全て回で、**皇子が丘公園 体育館 大会議室**で実施
（駐車場あり　京阪大津京駅・ＪＲ大津京駅より徒歩２・５分）

対象 どなたでも可能です。

お申込期間 実施日２日前まで。

講師 大津市発達障害者支援センターかほん　小﨑大陽、他

お申込方法 今年度も、**インターネット（以下のサイト）の申込みフォームで** 承ります。

https://forms.gle/Dqp8uPhzEdcJAxBZ6

しが夢翔会　検索

当法人ホームページからもアクセスできます。

やり方が分からない方や、インターネット環境が無い方は、最終ページのお問合せ先にご連絡ください。
申し込みで記入いただいた個人情報は、その保護･管理に留意し、この学習会に関してのみ使用いたします。

※ このチラシは、当法人・センターのホームページでもご覧いただけます。

****

自閉症の“そもそも”なハナシ

一言に「自閉症」「支援」と言っても、詳しくは様々な切り口や考え方があります。
それらの土台として、まず自閉症を中心に発達障害・行動障害に関する基本的な理解や支援・現場での関わり方を学んでいただく学習会です。

理解編
「自閉症」等についての基本的な障害理解

⇒

支援編
理解に応じて必要となる基本的な支援

２回で１セットのシリーズです。
「知的障害のある方中心」コースと「知的障害が無い･“軽度”の方中心」コースがありますが、
基本的な内容は同じです。
基礎編のみ・支援編のみの参加や、同じ編への繰り返しの参加も歓迎です。

自閉症支援のいろいろなハナシ

ご要望をいただき、「そもそも”なハナシ」の続編を企画いたしました。

「自閉症支援」をする上で、「〇〇法」とか「△△プログラム」といった手法を多く耳にします。いずれか一つだけで、あらゆる場面・あらゆる自閉症児者の生活全体を豊かにすることは、難しいです。ただ、様々な当事者・支援・実践や制度に触れる中で、最低限知っておくべき手法があるようにも思います。

では、それらの手法各々はどんな考え方で、具体的な実践のどんな場面でどのように使うと役立ち、期待できる効果は何でしょう？　これを知ってくださることで、目の前の当事者の方にたいして、万能ではないけれど良い支援のために役立つ方法（引き出し）を一つ得ていただけるのでは、と存じます。「知っているけど、再度どんな手法・考え方か確認してみたい」という方も歓迎です。

お断り

当センターの職員は、それぞれの手法を一定学んで実践してきましたが、手法自体を専門的・学術的に深める研究職ではありません。この学習会は、そういった意味での厳密な正確性よりも、当事者の方を目の前にした実践で具体的にどう使えるか、をできるだけ大切にしようと考えています。

「いろいろなハナシ」3回目と同日開催

今年度新企画

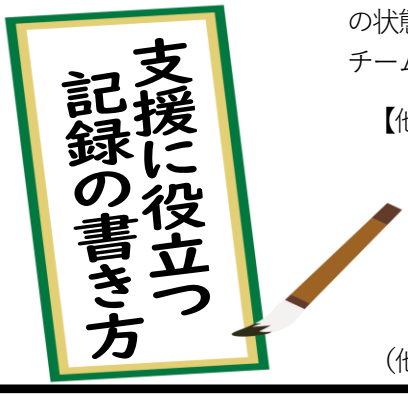
「行動障害」「発達障害」「自閉症・知的障害」に関する 支援の制度と経過

当事者に直接関わる支援・育児の現場にいる方にとって、制度は難しく感じやすい傾向にあります。インターネット等で調べても難しくて、理解できたようで自治体による細かい解釈の違いや例外がややこしいこともあります。ただ、“制度”は、現場の支援や相談に関するルール・仕組みでもあるので、難しい・ややこしいままだとやっている・起きている支援や状況の意味が分からず、不安・不満が溜まりやすかったりもします。

この回では、そういった難しい話を、あえて１時間に凝縮してできるだけ砕いて解説することを意識します。それにより、支援・相談の時に納得感が大きくなったり、より良い“制度”の要望ができる一助になれば、と思います。

（短く言うと、「障害者総合支援法」の特に行動障害に関する部分と、それに関連する「発達障害者支援法」を、解説さしあげる回になります。**支援現場で使う「支援手順書」などにも言及**します。）

今年度新企画



「記録の書き方が分からない」「書いてはいるけど、読み返してもよく分からなかった」ということはありませんか？　この回では、後から読んで[当事者の状態がつかみやすい] [支援の効果を確認しやすい]、また、[他の支援者と・チームで現場を共有しやすい]記録を記入するポイントを確認します。

【他の回との関連】

- 制度の回で触れる**「支援手順書」に関する記録の書き方**にも触れます。
- 記録を記入する視点・考え方は、様々にあります。この回は、当事者の“行動”に視点をあてて、現場で起こったことをありありとイメージしやすい記録記入を意識します。**“行動”の視点は、同日午後の応用行動分析の回でも深めます**。

（他の回と関連させますが、各回だけのお申込みも歓迎です。）

ADHDの理解と支援

一言に「発達障害」と言われることは多いですが、その中に自閉症とかＡＤＨＤとかＬＤとか様々なものが含まれ、それぞれに違うものです。その違いを捉えずにいると、支援がうまく進まなかったり、当事者等が困ることになってしまいがちです。

そこで、この回ではＡＤＨＤだけに焦点をあてて、その障害理解と必要な支援について取り上げたい、と思います。

◆「自閉症の“そもそも”なハナシ」「自閉症支援のいろいろなハナシ」で取り上げた内容にも少し触れて、自閉症とＡＤＨＤとの違いをはっきりさせることで、ＡＤＨＤを深められるようにします。

◆［ＡＤＨＤ＝知的障害］ではありません。ただ、学習会の中では、部分的に「ＡＤＨＤの傾向のある知的障害」の人についても触れられれば、と考えています。

高校大学生の・に向けた支援の現状とポイント

当法人では、2015 年から、厚生労働省「発達障害児者地域生活支援モデル事業」等で滋賀県から高校・大学生に関する事業を受託し、様々な高校・大学・先生方・学生さん・保護者さん・支援関係者等と関わらせていただいております。この事業受託を通しての蓄積を、皆さんと共有したいと思います。

具体的には、高校・大学で行われる支援や、その年代や大人になって気持ちよく頑張って過ごしていけるために、高校・大学生時代あるいはそれまでに必要な支援などを取り上げます。

「発達段階」をふまえた「発達障害」支援

発達段階 × 発達障害（特性）

子どもや知的障害のある人の支援や発達検査の中で、「発達的に○歳段階」というキーワードを見聞きします。また、「発達障害」とか「(発達)特性」というキーワードも見聞きします。それぞれのキーワードを、別々の場面・文脈でふれることも多くあります。また、それぞれが別の支援方針を示しているように見えて、混乱しちゃうことがありませんか？　しかし、目の前の障害がある子ども・大人は一人一人なわけで、「特性のある × ○歳段階」ということになります。このかけ算を発達段階ごとにお示しするのが、この研修のメインテーマです。また、補足的に「発達検査とは何か？」も解説さし上げます。

＊ 本研修内容は、過去の滋賀県障害者自立支援協議会におけるコース別研修(障害児支援)における小﨑担当分と、重複する部分が多くございます。

＊ 中学生くらいまでの子ども、あるいは、知的障害のある子ども･成人への支援者や指導者に特に有効な研修となります。

医師による研修会

支援者限定企画

大津市内の福祉・教育・就労などの支援関係者が連携させていただくことが多い、精神科等の医師をお招きして、講演などをしていただきます。詳しくは、9～10月頃に当法人ホームページ等でご案内いたします。
この回のみ、申込み方法等が異なります。

詳しくは、別紙のチラシをご参照ください。

保護者・家族交流会

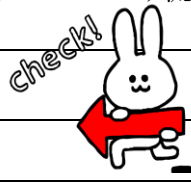
【お申込み時・申込み後の注意点など】

- 毎回ではありませんが、本学習会ではグループワークがございます。**グループワークが苦手等で個人ワークをご希望の方は、申込みフォームで**お申し出ください。
- 感染症や天候の状況によっては、**日程などの変更や中止をいたします。その場合**、メールあるいは当法人・当センターホームページ上でお知らせいたします。
  メールは、学習会前日にさし上げることもございます。事業所のアドレスで一括してお申込みの場合、**当方からのご連絡が事業所内で参加の皆さまにご周知**されるよう、ご配慮ください。
- 例年、ほとんどの回で定員に達します。しかし、年度初めに多くの回にお申込みいただくものの、秋頃からご参加の無い方がおられます。多くのお申込みは大変歓迎ですが、**スケジュール管理や、できればキャンセル時の早めのご連絡**をいただけると幸いです。
- また、当日直前に、申し込んだかの確認電話をいくつかいただきます。せっかくご来場くださったものの、申込みができていなかった方もおられます。
  これらへの対応として、申込みいただくと、申込み完了通知の自動メールが送信されます。代理申込みや参加是非の管理にご不安のある方は、**通知メールを受信できるよう迷惑メール・受信拒否等のフィルタを設定**し、メールの保存やプリントアウトをお願いいたします。

【新型コロナウイルス等の感染症に関して】

新型コロナウイルスの状況は改善しましたが、福祉・教育等は感染症対策が重要な業界です。インフルエンザ流行期などには、重要性が増します。以前よりも軽減しつつ、以下の対策を継続いたします。

必須！ お願いします	当日会場に来る前の体温の申告、 あるいは、会場に用意いたします体温計での計測
参加ご遠慮ください	体温が37.5度以上の方、その他、体調がすぐれない方
できるだけご協力を	マスクの着用
その他	・今後の流行状況によって、対策を強化・軽減します。 ・強化として、窓の開放や定期的な換気などを行います。この場合、**クーラー・エアコンを強くしますが、各自でも暑さ・寒さへの対策をお考えください。**



お問合せなど

社会福祉法人しが夢翔会　大津市発達障害者支援センターかほん

Tel０７７－５２６－５４７７　　Fax０７７－５３４－４４７９
cajon.kenshu@gmail.com（事務所を空けての業務が連続する時期は、返信まで数日いただく場合がございます。）
〒520-0860　大津市石山千町270-3

【参加料】

無料	大津市内にある事業所・学校・機関等にご所属の方
	大津市民の方
200円(資料代)	上記以外の方

【実施日時】

研修名・コース・編			日	時間	定員
自閉症の“そもそも”なハナシ	「知的障害のある方中心」コース	理解編	6月 27日（木）	10：00～12：00	60人
		支援編	7月 31日（水）	10：00～12：00	45人
	「知的障害が無い・“軽度”の方中心」コース	理解編	8月 22日（木）	10：00～12：00	60人
		支援編	9月 18日（水）	10：00～12：00	45人
自閉症支援のいろいろなハナシ	いろいろな手法と、その使い方		1月 14日（火）	9：30～12：30	60人
	「分かりやすくて、気持ちよく自立的に動ける」～構造化のハナシ～		2月 19日（水）	9：30～12：30	45人
	「“良い”行動を増やして、“しんどい”行動を減らす」～応用行動分析のハナシ～		3月 11日（火）	12：30～15：30	45人
「行動障害」「発達障害」「自閉症・知的障害」に関する支援の制度と経過				9：30～10：30	60人
支援に役立つ記録の書き方				10：40～11：40	60人
ADHDの理解と支援			10月 16日（水）	9：30～12：30	45人
高校大学生の・に向けた支援の現状とポイント			11月 12日（火）	9：30～12：30	45人
「発達段階」をふまえた「発達障害」支援			12月 4日（水）	9：30～12：30	45人
医師による研修会			12月 19日（木）	16：00～18：30	20人
保護者・家族交流会			別紙のチラシをご参照ください。		

※ 「自閉症支援のいろいろなハナシ」は、「自閉症の“そもそも”なハナシ」を踏まえた内容になっています。ただ、「“そもそも”なハナシ」は、「いろいろなハナシ」への参加の前提条件ではありません。また、「“そもそも”なハナシ」参加経験がなくても、「いろいろなハナシ」が一定理解できるような内容・構成にはなっております。

※ 本学習会の内容について、事業所・学校や複数人数のご家族等がお集まりの場所への出前学習会は、昨年度まで同様に実施しております。ご入用の際は、ご遠慮なくご依頼ください。（市民・市内事業所向けは、基本的に無料）